

## テトラヒドロ葉酸合成酵素

Cat. No. EXWM-5737

Lot. No. (See product label)

### はじめに

**【明】** 一部の細菌では、単一のタンパク質がこの活性とEC 6.3.2.12、ジヒドロ葉酸合成酵素の活性の両方を触媒し、これらの結合した活性が補酵素ポリグルタミン酸テトラヒドロペテロエート (H4PteGlu<sub>n</sub>)、すなわちさまざまなテトラヒドロ葉酸 (H4folate) の形成につながります。【照】的に、これまでに研究されたほとんどの真核生物では、活性は別々のタンパク質に存在します。アラビドプシス・タリアナでは、この酵素はミトコンドリア、細胞質、葉【体】に異なるアイソフォームとして存在します。各アイソフォームは別々の遺伝子によってコードされており、これは真核生物の中で独特な状況です。葉酸依存性酵素の親和性はグルタミン酸残基の数が【】えるにつれて著しく【】加するため、テトラヒドロペテロイルポリグルタミン酸はC1代謝の好ましい補酵素です。(レビュー【】み)。異なる供給源 (特に真核生物と原核生物) の酵素は、一炭素置換基およびテトラヒドロ葉酸上のグルタミン酸残基の数に関して異なる基質特異性を持っています。

**別名** フォリルポリグルタミン酸合成酵素; フォレートポリグルタミン酸合成酵素; フォルミルテトラヒドロペテロイルジグルタミン酸合成酵素; N10-フォルミルテトラヒドロペテロイルジグルタミン酸合成酵素; フォリルポリ-γ-グルタミン酸合成酵素; フォリルポリグルタミン酸合成酵素; フォリルポリ(γ-グルタミン酸)合成酵素; フォリルポリグルタミン酸合成酵素; FPGS; テトラヒドロフォルミルポリグルタミン酸合成酵素; テトラヒドロ葉酸:L-グルタミン酸γ-リガーゼ (ADP形成); テトラヒドロペテロイル-[γ-Glu]<sub>n</sub>:L-グルタミン酸γ-リガーゼ (ADP形成)

### 製品情報

**形態** 液体または凍結乾燥粉末

**EC番号** EC 6.3.2.17

**CAS登録番号** 63363-84-8

**反応**  $ATP + \text{テトラヒドロペテロイル-}[\gamma\text{-Glu}]_n + \text{L-グルタミン酸} = ADP + \text{リン酸} + \text{テトラヒドロペテロイル-}[\gamma\text{-Glu}]_{n+1}$

**備考** このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5【】9週間です。ご要望に【】じてカスタム生産が可能です。

### 保管・発送情報

**保存方法** 短期間は +4 °C で保管してください。長期間保管する場合は -20 °C~-80 °C で保管してください。